

# 長年ご使用のコンデンサの発火に注意してください！

## コンデンサ(低圧進相コンデンサ)の発火について

長年ご使用のコンデンサから出火する火災は6月から9月にかけて多く発生します。

梅雨による湿度の上昇や気温の上昇などによって、コンデンサの絶縁劣化が進み発火します。

また、経年劣化しても動かなくなる等の症状が起きず、通電状態であれば夜間などでも発生し、延焼拡大のおそれがあります。

### 低圧進相コンデンサの絶縁破壊実験



## 低圧進相コンデンサとは

200Vの業務用冷蔵庫やモーター等を使用する電気機器の力率を改善し、電力を効率よく使用する機器として、店舗、作業場等に設置されています。



## 火災を防ぐために

- (1) 機器を使用しない時はメインブレーカーを切り、低圧進相コンデンサに電圧がかからないようにしましょう。
- (2) 特に、昭和50年(1975年)以前に製造された製品には「保安装置」が内蔵されておらず、**発火する危険性が高いので、早急に交換してください。**
- (3) 設置から概ね10年以上経過したものは、専門業者による点検を受け、計画的に交換することが推奨されます。

